休診 (医科)

			R	26				R	15		R4			
	曜日	<u>Fi</u>	孟	召	夜		曜日	昼	昼・夜		曜日	昼・夜		計
	堆口	内科	小児科	内科	小児科	計	唯口	内科	小児科	計	堆口	内科	小児科	百
12/28	土	_	_	33	6	39	木	18	5	23	水	3	3	6
12/29		125	51	65	19	260	金	25	9	34	木	11	1	12
12/30	月	_	_	112	21	133	土	58	15	73	金	73	11	84
12/31	火	181	57	67	17	322	П	149	64	213	土	114	47	161
1/1	水	163	57	68	12	300	月	132	45	177	П	103	40	143
1/2	木	197	48	68	13	326	火	133	46	179	月	108	26	134
1/3	金	148	47	47	12	254	水	135	41	176	火	102	29	131
1/4	±	_	_	55	10	65	木	20	8	28	水	2	0	2
1/5	田	137	31	44	6	218	金	9	3	12	木	2	0	2

R6年度 Dr.帰宅時間等

		Dr.帰写	宅時間		薬剤師帰宅時間			患者数		
	亙	<u>Z</u>	不	支	昼	夜	休診閉所時間	(再掲)		
	内科	小児科	内科	小児科		IX.				
12/28	_	_	22:30	_	_	22:35	22:45	39		
12/29	18:00	18:00	0:40	22:50	19:30	0:55	0:55	260		
12/30	_	_	1:00	23:15	_	1:20	1:45	133		
12/31	18:50	17:55	22:30	22:05	(通し)	0:30	1:00	322		
1/1	18:30	17:25	22:55	22:05	19:55	23:20	23:35	300		
1/2	18:40	17:20	23:15	22:10	(通し)	23:30	24:00	326		
1/3	18:00	17:55	22:20	22:20	18:20	22:30	22:45	254		
1/4	ı	1	22:10	ı	_	22:15	22:30	65		
1/5	17:50	17:20	22:30	22:05	17:50	22:30	22:40	218		

休診(歯科)

R6年度 Dr.帰宅時間等

			1101/2 01	17/13 O 3 [A3 1.3					
		R6		R5		R4	Dr.帰宅時間		
	曜日	昼	曜日	昼	曜日	昼	昼	休診閉所時間	
	± ±	歯科	唯口	歯科	惟口	歯科	歯科		
12/28	土	_	木	_	水	_	-	_	
12/29	日	15	金	_	木	_	17:00	17:40	
12/30	月	_	土	_	金	_	_	_	
12/31	火	35	日	33	土	29	17:00	17:30	
1/1	水	15	月	14	日	16	17:10	17:45	
1/2	木	20	火	11	月	7	17:00	17:45	
1/3	金	15	水	14	火	10	17:00	17:30	
1/4	土	_	木	_	水	_	_	_	
1/5	H	7	金	_	木	_	17:00	17:30	

〈不公阪市〉

		4 4 4 5											
			日		中		夜間		深夜				
•		内科	小児科	外科	小計	内科	小児科	小計	内科	小児科	小計	合計	
	令和6年度					36	14	- 50		4		61	
12月28日	令和5年度					10	2	12					
	前年度比					26	12	38					
	令和6年度	167	65	18	250	57	11	68				318	
12月29日	令和5年度					12	10	22				22	
	前年度比	167	65	18	250	45	1	46				296	
	令和6年度					101	23	124				124	
12月30日	令和5年度					28	6	34	4	1	5	39	
	前年度比					73	17	90			5	95	
	令和6年度	136	. 64	7	207	44	16	60				267	
12月31日	令和5年度	129	57	14	200	30	10	40				240	
	前年度比	7	7	▲ 7	7	14	6	20				27	
	令和6年度	134	42	8	184	49	1.2	61				245	
1月1日	令和5年度	96		21	161	24	6	30				191	
	前年度比	38		▲ 13	23	25	6	31				54	
	令和6年度	124	53	13	190	54	10	64				254	
1月2日	令和5年度	131	38		189	36	6	42				231	
	前年度比	▲ 7	15	▲ 7	1	18	4	22				23	
	令和6年度	145	31	6	182	51	. 9	CARL THE STATE OF THE PARTY OF				242	
1月3日	令和5年度	124	31	17	172	17	4	21				193	
	前年度比	21	0	▲ 11	10	34	5	39				49	
	令和6年度					29	- 5	34			9	43	
1月4日	令和5年度					25		28				28	
	前年度比					4		6	7	2	9	15	
	令和6年度	121	48	- 5	174	29		AND COMPANY OF THE PARTY OF THE				209	
1月5日	令和5年度				0	5	2	7				7	
	前年度比	121	48			24		28				202	
	令和6年度	827	303	57	1,187	450	ACMEDIAN PRODUCES AND ACCOUNTS AND ACCOUNTS	Andrew Charles and Great Alleganics	SUCCESSION STATES AND ASSESSMENT OF THE PARTY OF THE PART	6	Control and the second	CONT. CO. AND SECTION	
合計	令和5年度	480			722	187	49	236		1	5	963	
	前年度比	347	133	▲ 15	465	263	57	320	10	5	15	800 ※延べ人数	

1, 763 1.83

年末年始等の伊勢市休日・夜間応急診療所 運営方法の打ち合わせ結果について

日時:令和7年|月9日(木)

 $10:00\sim11:10$

場所:伊勢地区医師会理事室

【出席者】医 師 会:山川会長、寺田副会長、木下事務長、中村

スタッフ:大野看護師、鈴木看護師、河北看護師

市:谷次長、村井課長、北村副参事、川合主査

【趣旨】

年末年始の休診が非常に混雑し、患者様を長時間屋外で待たす等、不便をかけたため、今後どうしていったらいいか対処方法を考えていけたらと思い、本来なら市が主導で行って もらうべきところ、医師会から声をかけて参集した。

【年末年始の状況】

| 12/28~|/5までの患者数は|,917人。多い日で|月2日の326人(内科265人、小児科61人)。|2月30日は夜間のみの診察だったが|33人(内科||2人、小児科2|人)となった。

年末年始は昨年度と比べ 1.5 倍から 2 倍の患者の受診があった。

参考に松阪市の状況を教えてもらったが、12/31 から 1/5 に診療人数の制限を行ったとのこと。

【年末年始の状況に伴う質疑】

・受診制限はしてもいいのか?制限され受診できなかった人はどうなったのか?制限する にしても、次にここに行ってとか、電話してとかないとクレームを受けてしまうのでは ないか。

市⇒制限した市に確認します。(確認したところ、午前に受付に来た患者の方には午後に来るよう、午後に受付に来た患者の方には夜間に来るよう、夜間に受付に来た患者の方には翌日午前来るよう案内したとのこと。)

【年末年始の状況に伴う課題】

- ●受付の時間短縮化について
- ・受付の進み具合がボトルネックになっていると感じている。受付をスムーズに済ませるような体制確保が必要ではないか。
 - ⇒事務スタッフの増員や、市職員のバックアップ体制の構築等、体制を整えていきたい。
- ・入力用の端末が少なく思うが、増台はできないのか。

⇒端末を増やしたとしても、繁忙日以外は使わないことになり、遊ばせてしまうことにより無駄な経費をかけるということになる。また、休診は初診患者が多いので、増やしたからといってカルテ作成等の事務処理が早くなるものでもないと思われる。

●デジタル化について

- ・予診票をあらかじめアプリ等オンラインで入力してもらうなど、時間短縮ができるシス テムなどの導入を検討してはどうか。
 - ⇒費用の関係もあるが、できるところから始められるように検討していきたい。

●キャッシュレス化について

- ・精算を現金のみではなく、QR決裁やクレジット等、キャッシュレス化を進めていって はどうか。
 - ⇒昨年9月の盗難事件の件もあり、現在、キャッシュレス化の導入を進めているところである。

●発熱患者を室内診察に戻す件について

- ・発熱患者を室内診察に戻す件について、次回の理事会で提案し、会員へアンケートを行って決めていきたいが、現場スタッフはどう考えるか。
 - ⇒現場スタッフは賛成。

●その他

- ・職種と違うことをしなければいけない体制はよくないと思うので、受付スタッフ体制の 確立は確実にお願いしたい。
 - ⇒薬剤師会の会長にも「忙しいときは協力はするが、会計待ち患者への連絡や精算等の 手伝いが常態化するのは避けて欲しい。」とのご意見も頂戴しているので、体制は整えて いきたい。
- ・(インフルエンザ等の)外来診療の状況から、おおむね I O 日ほど前には流行傾向が予測できるため、市が職員の応援体制を検討するにあたり、その際は伝えたほうがいいか? ⇒いただけるとありがたい。
- ・予診票をコピーする必要ないのではないか
 - ⇒1/9 よりコピーをやめる方向で調整。
- ・予診票にコロナワクチン接種回数のゴム印を押す必要はないのではないか。
 - ⇒現在押印してあるものがなくなり次第、押印をやめる方向で調整。